

SKI Instructor of JAPAN



# INSTRUCTOR 第38号

日本スキー指導者協会会報

2022年10月1日発行

## 巻頭言



会長 坂本 祐之輔

暑かった夏が過ぎ、秋を迎え今年もスキーシーズンが到来します。

指導者の皆様には日頃より日本スキー指導者協会に対し、温かいご指導ご鞭撻をいただいておりますとともに、スキースポーツの普及振興、また地域のリーダーとして郷土の発展にお力を注いでいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、私ごとですが、今年の冬は久しぶりに一人でスキーに行く機会がありました。慌ただしい日々を過ごしておりましたが、たまたま終日何もない日があり、ふと思立って、一人で長野県佐久ガーデンパラダスキー場に向かいました。平日ゆっくりと自宅を出ても1時間ほどで到着し10時過ぎにはリフトに。この日は天候にも恵まれ、かつ平日でスキー場が空いていたこともあり、思う存分にスキーを満喫してきました。

私はこれまでスキーには連盟関係者や仲間と行ったり、大勢の子どもたちを連れてスキー教室を開いたり一人でスキーを味わうことはほとんどありませんでした。一人でスキーをする中で改めて自分の滑りを再確認し、雪の上を滑る楽しさを満喫できました。その一方で仲間と共に滑る楽し

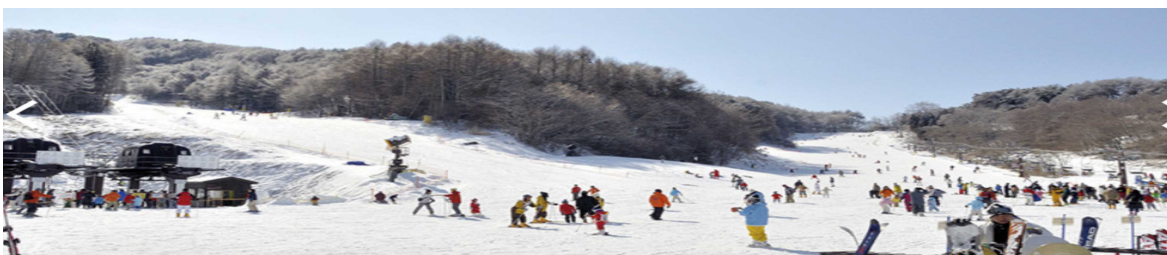
さ、子どもたちに教える楽しさも改めて実感しました。

スキーには人それぞれの楽しみ方があります。技術を高める楽しみ、仲間と滑る楽しみ、家族と滑る楽しみ、恋人と滑る楽しみ、一人で滑る楽しみ、スキー滑走ばかりではなく滑走後の温泉や食事が楽しみという方もいらっしゃると思います。

ゲレンデから帰りの車の中で、このようなことを考えながら多種多様な楽しみ方を有するスキースポーツはこれからまだまだ発展の余地があると痛感しました。

スキー人口の減少が続き、新型コロナウイルスの感染拡大がさらに追い打ちをかけている状況下ではありますが、これからも一人でも多くの人々にスキーを楽しんでいただくためにも、私たちはスキースポーツの伝道者として、スキーの技術向上と普及振興に努めるとともに、スキーのさまざまな楽しさも伝えていかなければならないと思います。

結びに、指導者の皆様の今後ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



## 先人の築いてきた道を大切にしながら未来を切り拓こう

私が心の中で真面目にスキーと向き合う時、いつも必ず出て来る顔がある。歴史を越えて語りかける声が聞こえるのだ。

まず北欧のスキーの神様であるウルが弓矢を手にし、北方型の左右異なった長さのスキーをつけてあらわれる。スキーの大明神たる貫録でその存在は無言のうちに多くを語る。次には雪の女神のスカディーだが、海の神と結婚したものの性格の不一致から離婚したという。自立した人だったようだ。

神話の時代からスキーは永い間生活の道具とされてきたが、数千年前に建てられたラダイ島の石碑にはすでにスキーがルーネ文字と共に刻まれている。大変に古い歴史を持っているのだ。スキー界のルネサンスとも言えるのはノルウェイのフリョフ・ナンセンの出現である。1888年にスキーによるグリーンランド横断の快挙はスキーの新しい分野をひらいた。ナンセンはスキーを高く評価し、「あらゆるスポーツの中でその王者に値するスポーツがあるとすれば、それはスキーである」と述べている。後に外交官となり、難民高等弁務官を務め、1920年のウクライナの難民救済活動でノーベル平和賞を受けるなどスポーツと世界平和に大いに貢献した人物であった。ナンセンは自伝の中で白銀の世界にいと神を近くに感じると述べている。

このナンセンに大いにインスパイアされた人間が、オーストリアのマティアス・ツダルスキーである。近代山岳スキー技術の確立者である。その人のレオナルド・ダ・ヴィンチのような全人的な個性は多くの人々に影響を与えた。その中の一人に1911年に日本の高田で初めてスキーを教えたレルヒ少佐がいる。

受け入れ側の陸軍師団長、長岡外史はスキーを軍事目的より国民のスポーツに適しているとして乃木大将の支援のもと、その振興に全力を尽くした。長岡の協力者が近衛連隊から派遣されフランス語の通訳を担った山口十八参謀だ。山口は私の母、福岡華子の実父である。華子はこのあとオーストリアスキー技術の導入をめぐる活躍する私の父、福岡孝行と結婚する。私にとってレルヒ少佐は祖父と親という二代の恩師といって良い。

私のスキーキャリアは、ルディ・マットで始まる。数々のレースで優勝した人物だが、オーストリア職業教師スキー連盟会長でもあった。1958年に来日した万座温泉の講習会には全日本スキー連盟幹部や猪谷六合雄さん等要人が勢ぞろいした。マット氏のレッスンは厳しく、日本のスキー教師が講習中に煙草を吸って怒られたことは数知れずであった。

1963年にはオーストリアのスキー教師養成所の所長であるシュテファン・クルッケンハウザー教授の登場である。彼は、アシスタント3人（フルトナー、ノイマイヤー、シュバルツェンバツ

ハ）を引き連れ特別講習会を苗場、白馬などで実施した。彼のスキー理論、スキー技術、実施指導力は素晴らしく、大学生であった私はすっかりスキーの虜になった。当時私はトップデモンストレーター・フルトナーの通訳をしていたが、彼のスキーの技術の正確さ、滑りの優美さは際立っていた。クルッケンハウザー教授は私の人生を変えた。

私はこの後ドイツに留学しフランクフルト大学でスキーの研究をすることになる。当時世界で初めて無線機を使い、オーストリアスキー教師の滑りを記録し分析した。そのきっかけはスキー教師たちがオーストリアスキー教程の規則通りではなく、ひとりひとりが、強烈な個性を持っていたため、その謎を解きたくなったのである。スキー技術もエビデンスの時代となったのである。帰国後私はスポーツ研究所を設立しスポーツを生業とすることとした。

SAJの松浦益司郎さんや東京都スキー連盟会長の赤井三郎さんのご縁でSAJの手伝いをするようになった。以後、ガルミッシュ、チェコ、蔵王、セクステン（イタリア）、サンアントン（1991）、志賀高原（日本、IVSI）、ザコパーネ（ポーランド、IVSI）、野沢温泉（日本）、バイトスターレン（ノルウェイ）、レッヒ（オーストリア、IVSI）、クランモンタナ（スイス）、サンアントン（2011）、等々40年間にわたり日本あるいはIVSIを代表して講演をさせていただいた。いつも講演の後でクルッケンハウザー教授の批評を聞くのが私にとってもっとも興味のある心の充実した時であった。

1983年のセクステンでのインタースキーの時に、クルッケンハウザー教授が「お前たちは自立した（ゼルプストシュテンテッヒ）」と言われた。私達日本人にとってこれほど嬉しい言葉はない。これからは、創造と連帯を通してインタースキーに協力してゆくことが日本の進むべき道であろう。

インタースキーを通じて実に沢山のひと々と知りあった。皆素晴らしい人ばかりである。その中で特に名を挙げれば、アドルフ・オーダーマット会長（スイス）、プロスキー教師連盟会長（ISIA）カール・ガンマー氏（スイス）、そしてスキー指導者連盟（アマチュア、IVSI）の会長クルト・クライスルマイヤー氏（後にインタースキー会長）が挙げられる。特にクルト・クライスルマイヤー氏は総合的視点と先見力のある人でスポーツクラブや連盟の役割がいかに大切かはこの人の努力により確立された。もう1人はオーストリアのハンス・グロル教授。この人は学校におけるスキー指導の部会長をされており、その誠実な人柄と学者としての一流の見識は永遠に評価されるものである。この他にもホピヒラー教授（オーストリア）タウン・ユートラ教授（フィンラン

SIJ顧問 福岡 孝純

ド)をはじめとする理事の方々は今ほとんどが故人だが、これらの人なくして現在のインタースキーの三本柱、即ちプロ (ISIA、国際職業教師連盟)、アマ (IVSI、国際スノースポーツ指導者連盟)、学校 (ISSS、国際学校及び大学スキー指導者連盟) はしっかりしたものにはならなかったであろう。この路線の上でインタースキーは、オーストリアのメルマー会長のもと順調に発展してきた。IVSI (国際スノースポーツ指導者連盟) は2015年の白馬大会以降、初めて2022年のレヴィの理事会・総会で役員が交代した。現在はゲオルグ・カリスキー会長 (ポーランド)、ルディ・レーバー副会長 (オーストリア) のもとにしっかりした組織づくりが行われている。付帯組織として指導と検定委員会、戦略とマネジメント委員会、研究と開発委員会が編成されており、研究と開発の委員会は私、福岡が委員長を務めている。残念ながら2022年に起きたロシアのウクライナ侵攻により、IVSIのソチ大会は中止となってしまったが、インタースキー大会はフィンランドのレヴィで行われた。

このような動乱の中で、今後のスキー教育界は一体どうなるのであろうか。私の率直な印象をいえば、かつて国際スキー界に戦争とか種々の困難な問題があった時、逆にスキー教育者たちは最も光り輝いていた。しかし現在のように物質的には何一つ不自由のない技術文明の中で教育スキー界はかえって活力を失いつつあるかのように私には

思われる。今必要なのは、どのようなスキースクールマネジメントが次世代に適切であるかということだ。国のエゴイズム、組織のエゴイズムといういわゆるファースト主義に対し、CS (カスタマーズ・サティスファクション<顧客満足度>)、つまりスキーヤーにとってどのやり方が一番かということが真剣に論じられ、また結論が出されなければならない。

フランスのクーベルタンはかつて「逞しい身体の中で火のように燃える魂こそスポーツの目指すもの」と述べた。このような気持ちこそ現在の我々に必要なのではあるまいか。それには自然に戻ることで、そしてその中で人間が自分自身を再び見出すことが必要なのではないか。温故知新のもとかつてのフリチョフ・ナンセンやツダルスキーのような、不屈の精神で理想を追求するスポーツスピリットを今私達は必要としている。技術・消費文明、また管理社会化して人間疎外に陥っている人々にスノースポーツのよろこびを与え、いのちの甦りを可能にさせる為に、私達は今こそ知恵を出すべきである。上から目線の組織に安住するのではなく、どのようにしたら楽しいスノースポーツが可能になるかを、今こそ国際的視野を持ち具体的に論じるべきである。

IVSI (国際スノースポーツ指導者連盟)  
研究と開発委員会委員長

福岡 孝純



スキーの神 ウル



スカジ (北欧神話) - Wikipedia



フリョフ・ナンセン



マチアス・ズダルスキー

レルヒ少佐と  
連隊長の堀内大佐1911



## シー、ハイル！

## ～ スキーはわが分身 ～

千葉県 松戸市スキー連盟  
佐藤 雄一郎

これは、余り自慢にもならない話だけれど、私は、スキー準指導員（準指）も、スキー指導員（正指）もストレートにパスしてきたのではない。未熟で下手な人間が合格しないのは、当たり前だが、ちょっぴり言い訳をすれば、毎日働きながら、練習時間を絞り出し指導者養成のカリキュラムを消化するのは容易なことではない。その頃、全日本スキー連盟（SAJ）は頻繁に「スキー教程」を改訂していたので、技術のキーポイントが定まらないようにも感じられた。

妻は、学生時代からスキーに親しみ、私よりも早く1級に合格した。私は、その時海外に居たので「先に追越したね。ブラボー！」と祝福した。

彼女は、私の正指トライに「適性がなければ、諦めた方が良い…」とコメントした。私は、生返事を返ししながら、内心は「ナニクソ！」とチャレンジした。

発表は村外れの体育館であった。受験生は冷たい床に座り、呼び上げられる番号が自分の頭上で止まることを祈った。私は、「ヤレヤレ今年も終わったか…」と思ったその時、「右、総代…」と私の名前が呼ばれた。発表の後で、私ともう一人50代で合格した東京の人がSAJ理事から呼び出された。

あなた方は、年配者として、若い人たちをしっかりと育ててもらいたいと彼は言った。

～ 歳月は流れる。～

「スキー旅行」でやってくる生徒や、「学校体育」としてスキーを学ぶ子供たちに接していると、忘れがたいことにも出会う。

九州からはるばるスキー修学旅行でやってきた男子高校生たちと数日を過ごし「皆さんは僅か3日間で、スキーをマスターした。やれば出来る！ことを忘れないで…」と話していると、一人の生徒が飛び出して、「先生！」と私に抱きついてきた。

”ハグする”人と抱き合って挨拶したり、感情を現したりする習慣は、欧米では日常的だけれど、日本の社会では珍しい。

クラスメイトたちは、「おい、ヤメロヨ！」と声をあげたが、私は、彼のなすままにした。

その生徒は母子家庭で育ち、父親から学ぶ機会がなかったことを、後で知った。

中1女子のクラスを受け持った私は、2人1組のペアを作った。奇数のひとは、私とのペアになった。「スキーではお互いに助け合いましょう。転んだら起こしてあげる。崖から落ちそうになったら、引っ張ってあげる。死ぬも生きるも一緒です。」と話している

ところに、昔の長いスキーをつけた学校長が来て「私にも一緒に教えて貰えませんか？」と尋ねた。

「いいですよ。でも、特別扱いはしませんよ。手始めに、この生徒さんとペアになって下さい。」と言って私と組んでいた生徒を指した。ところが、彼女は、首を横に振って、「嫌です。」と言う。

「どうして？」と聞くと「校長先生は年寄りだから早く死ぬでしょう。私はまだ死にたくはありません。」私は、笑いをこらえながら、「死ぬも生きるも一緒と言ったのは、寒い冬山でスキーをしている時には、お互いに助け合いましょう…ということです。」

私は、今もって自分のスキーの滑りが上手いとは思わない。急斜面に出ると「滑れるかな？」と初心者のように胸がドキドキするし、起伏の激しいロングコースでは、山側のスキーに体重をかけてしまい、「アッ！」と思う瞬間がある。リカバリーして転ばないですむのは、年の功かもしれないけど…

年に一度の指導者研修会（研修会）には出席することになっている。そこは、自分の未熟さを反省する場であり最新のスキー情報を吸収するところでもある。また、今日まで曲がりなりにも”熟年スキーヤー”のお相手をしてきたのだから自分自身も向上しなければ、と思う。

札幌テイネの研修会、コーチは小柄な若い女性であった。公認デモンストレーターだけあって、その滑りは美しかった。”オジサン・オバサン”組の研修班にやってきた彼女は、私たちにフリー滑走をさせた。そして一言。「皆さんの滑りは、スキーではありません。暴走です！」

スキースポーツの物理学的、生理学的な研究は既に十分尽くされているけど、それをどのように実際のスキーに表現するのか…と言う命題は模索されている。

スキーは、全身運動のスポーツだけれど”若さと体力”の勝負ではない。「重力」と「雪」という力強い”助っ人”がいつもスキーヤーと共にいるからだ。

健康体ならば、年齢に関係なく、いつまでも続けられるスポーツだと私は思う。北米の最高峰として聳えるマッキンリー（デナリ）や、地球上の山々に君臨するエベレスト（チョモランマ）から”滑り降りる”と言う技術も度胸も私にはないけれど、スキーは我が人生の分身として、いつもそばにあることだろう。

シー、ハイル！ スキー万歳！



## 【北海道】北海道スキー指導者協会

会 長 三 浦 光 男

## 北海道スキー指導者協会創立70周年をむかえて

私ども北海道スキー指導者協会は、本年創立70周年を迎えることが出来ました。昭和27年（1952年）10月1日北海道一般スキー指導員会として創立されました。

指導員数100名近くで、親睦を旨とした会組織の必要性が高まり発足したと記されています。

単なる親睦機関としてだけではなく技術の向上を目指して理論の研究や実技の研修も行い、併せて一般スキーの普及を図ることとしました。

会員数500名を超えた頃、高橋会長は「会員数の増大ばかりがその会の発展を意味するものとは限らない。会の内容を充実向上させることが肝要であろう」と言っています。その後会員の増加に伴う意識の低下と会費未納入などが続き1969年～10年間休止に追い込まれました。

しかし、会の必要性が再び取り糺され、1979年10月13日に再起設立総会を開催、この時会長に選出された柴田信一氏は「指導員会存続のメリットは何かとよく聞く。我々アマチュアは社会体育に奉仕する喜びと我々の後から続くであろう指導者のために、よりよいスキー指導の環境づくりを使命としたいものである」と語っています。

2000年には会員数8000人を超えるまでになりましたが、取り巻く環境の変化、経済不況、少子高齢化、任意加入等で、現在3600名を切っております。紆余曲折を経て70周年を迎えました。

本来であれば記念事業を行うべきところですが、残念ながらコロナ禍により中止と致します。

また、創立記念誌につきましても、60周年記念誌を発刊して日が浅いことから今回は見送ることと致しました。

コロナ禍により社会情勢、そしてスキー界の情勢も大きく変わりつつあります。

接触の機会を少なくする意味からもIT機器の活用が多くなりましたが、会員の多くは高齢者で不慣れた部分もあり本協会がフォローアップしていかなければならないと思います。

上部団体との連携、そして会員相互の連絡を密にしてスキー界の発展に寄与していきたいと考えます。

本協会の機関誌シュプールは発刊から62年を経過し50号を迎える事が出来ました。

時代背景は変わりホームページに掲載しては、との意見も聞かれます。しかし時代の流れに反しますが、冊子として残すことが誰でも何時でも何処でも見る事が出来ます。50号まで時代とともに掲載内容は変わってきましたが、全道各地、各人の情報伝達等益々内容の充実した機関誌としてさらに発展・継続していきたいと思えます。

8月20日理事会、8月21日に代議員会が3年ぶりに開催されました。全道各加盟団体の理事、代議員が集まり、対面で会議が出来たことは大変うれしく有意義な会議でした。

しかし、コロナ感染防止対策で懇親会が出来なかったのは非常に残念です。

代議員会で議案が承認され、withコロナの2023年度がスタートしました。

## 8月20日 理事会



理事会 1



理事会 2



理事会 3

## 8月21日 代議員会



代議員会 1



代議員会 2



代議員会 3



【岩手県】岩手県スキー指導員会

事務局 石川 明

＜県スキー連盟と指導員会との共同制作による会報「いわてシーハイル」が誕生＞

昨年12月、県スキー連盟と指導員会との共同制作による冊子「いわてシーハイル」が誕生し指導者研修会開催時に配布されました。

長年、課題を抱えてきたこの冊子は、これまでの様々な反省をもとに一新し教育本部から競技本部関係者並びに協賛いただいた会社方面などに幅広く頒布され、多くのスキー・スノーボード愛好

者に受け入れられていると自負しております。

印刷経費は、県連は広告料を財源に、一方、指導員会は一人千円の会費から一部を負担する形で無理のない方法で長く続けられそうです。

ただし、原稿集めや事業の現地取材活動などを求められますが、めげずに継続して皆さんに読まれる物を目指して参ります。

昨年度に引き続き、今年度の事業予定と役員体制を紹介させていただきます。

時期	事業名	内 容	区分
2022. 12	いわてシーハイルの発行	会員及びSKI・S B関係者に配布 (教育本部～競技本部関係者等)	共同
2022. 12～1	会員親睦事業	S A J 指導者研修会飲料類提供事業	単独
2023. 2	指導員養成事業	指導員検定会受験者へのアドバイザー派遣又は補助等	単独
2023. 3	会全日本スキー・S B技術 選手権大会補助	S K I ・ S B 岩手県選手団への財政支援事業	共同
2023. 3	指導員養成事業	準指導員合格者への記念品提供 (S. I. Jフッペン・シール)	共催
2023. 7	会員親睦事業	親睦交流ゴルフコンペ(会員のみ対象)	単独
年度内随時	慶弔事業	死亡会員への慶弔金支給(当会規定による)	単独
年度内	会議等開催事業	・総会等各種会議の開催 ・日本スキー指導者協会会議出席(会長)	単独

新役員体制(任期:令和4年8月1日～令和6年7月31日)

役 職	氏 名	所属団体	ブロック等
会 長	吉田 尚邦	県警クラブ	(新任)
副会長	中野 新一	雫石町	
理 事	大黒 義男	一戸町	県北部
〃	立花 圭介	八幡平市	県北西部
〃	佐々木英夫	盛岡市	県央部 (新任)
〃	佐々木松次	矢巾町	県央西部
〃	越後 晃一	花巻市	県央南部
〃	湯澤源一郎	北上市	県西部
〃	佐藤 悟	水沢市	県南北部
〃	阿部 眞	一関市	県南部
〃	中野 慎也	岩泉町	沿岸北部
〃	小向 健一	遠野市	沿岸南部
〃	小原 善幸	江刺市	会長推薦(S B担当)
〃	米澤 美子	盛岡市	会長推薦(事務局)
〃	阿部 秀平	盛岡市	会長推薦(事務局)
〃	石川 明	盛岡市	会長推薦(事務局)
監 事	澤口 次雄	盛岡市	
〃	角舘 光之	盛岡市	(新任)



○指導員会主催ゴルフコンペ(2022. 7. 23開催 参加者45名)



(一財)岩手県スキー連盟教育本部長 松ノ木敏雄さんのナイスショット

## 【福島県】福島県スキー連盟指導員会

副会長 小川 徳裕

日本スキー指導者協会会員の皆様、こんにちは。相変わらずのコロナ禍に見舞われておりますがいかがお過ごしでしょうか。

福島県からは、昨年度の事業の実施状況の報告と来年度の事業計画について、報告いたします。

## 令和4年度事業報告

## (1) 第1回役員会の開催

期日：令和3年11月7日（日）

会場：会長宅（会津若松市）

議事：①会報の発行について

②総会の書面開催について

③令和4年度事業計画（案）の確認

④令和4年度予算（案）についての確認

## (2) 第1回理事会の開催

期日：令和3年11月9日（火）

会場：書面開催のため、議案集を郵送、発送先理事20名

議事：①令和3年度事業報告及び収支決算報告、監査報告

②令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）

③その他

## (3) 指導員会会報の配布

期日：令和3年11月27日（土）

会場：猪苗代町体験交流館「学びいな」

## (4) 指導員検定会受検者への支援

期日：令和4年2月25日（金）～27日（日）

会場：青森県スプリングスキーリゾート（第二会場）

群馬県鹿沢スノーエリア（第三会場）

受検者：16名

## (5) 全日本スノーボード技術選手権大会への支援

期日：令和4年3月3日（木）～6日（日）

会場：新潟県石打丸山スキー場

出場者：6名

## (6) 全日本スキー技術選手権大会への支援

期日：令和4年3月2日（水）～6日（日）

会場：長野県八方尾根スキー場

出場者：6名

イエローフォールツアー、スキーインストラクターズサロンは新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催を中止しました。

続いて、令和5年度事業計画について報告します。

## 令和5年度事業計画

## (1) 総会、役員会、理事会の開催

## (2) 指導員会会報の発行

## (3) スキー指導員検定会受検者への支援

## (4) スノーボード指導員検定会受検者への支援

## (5) 全日本スキー技術選手権大会出場選手への支援

## (6) 全日本スノーボード技術選手権大会出場選手への支援

## (7) 「福島のシュプール」第48号の発行支援

## (8) スキー功労指導者・名誉検定員への顕彰認定バッジ代等の支援

## (9) イエローフォールツアーの開催

## (10) スキーインストラクターズサロンの開催

## (11) 日本スキー指導者協会の総会・理事会への出席、及び各行事への参加

以上、報告いたします。

また、ここで私事ですが、私が所属する福島不忘スキークラブ（不忘の名前の由来は福島市と山形県米沢市の間にある「不忘山」からいただいたそうです）が本年で設立99周年を迎えました。来年は設立100周年となります。

これまで100周年を迎える毎に記念事業を実施してまいりましたが、来年は、100周年という節目の年となりますので、現在、記念事業の実施に向けて、会員一丸となって取り組んでおります

## 2023 S I J 懇親スキーフェスティバルin福島 案内

- ・シーズン最後に各県のスキーヤーと交流しよう。
- ・交通の便利な福島の高標高1500mのスキー場と美しいホテル。
- ・豊富な箕輪軟水の湯（大浴場・露天風呂）でのんびり。
- ・食事を兼ねたパーティーでは参加者同士の懇親を深めよう



開催日：2023年4月1日（土）～2日（日）

会場：プルミエール箕輪スキー場

ホテル：ホテルプルミエール箕輪

Tel 0120-64-3320

申し込み・問合せ先

SIJ事務局長 藤木 昇

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西4-43-23

(携帯) 070-5597-3118 (FAX) 045-774-8155

(メール) [nobfjk@b03.itscom.net](mailto:nobfjk@b03.itscom.net)



【埼玉県】埼玉県スキー指導員会

埼玉県スキー連盟教育本部  
企画委員会 副委員長 船戸 均  
日本スキー指導者協会担当

続くコロナ禍、「何ができるか」から「何ができただか」を経て  
～ 「クール&チャレンジ」、「アクション」へ ～

現在も、私たちはコロナ禍の真ただ中の中にいます。このS I J会報の36号、37号と2号にわたって、コロナ禍に対して冷静に向き合うことや何ができるかについて思うところを述べてきました。本号において三度（みたび）このことを話題にするとは考えていませんでした。しかしながら、変異を続け、様々な局面や生活環境において影響を及ぼし続けるこの「脅威」について、今後も「思考停止」に陥らない状況を維持するために、敢えて話題にし続けようと思い、整理してみました。

日本における新型コロナウイルス感染症の影響は2019年の末に始まったと認識しています。先にも触れましたが、日常生活への影響はとてつもなく甚大で、そして、スキーを始めとするスノースポーツのみならず、スポーツ界全体も世界規模で大きな影響を受け、2019年から2020年にかけて、感染予防の観点から様々な事業を中止しました。

2021年から2022年のシーズンでは、一定の制約のもとではありますが、事業の実施についてトライしてきました。ウィズコロナ、コロナとの共存は、試行錯誤を繰り返しながら様々な場面で進んできました。

現在ではワクチン接種も一定の割合で進み「かぜ又はインフルエンザ並み」ととらえる声もありますが、そこに至るにはあと一歩、治療薬の開発にかかっています。とはいえ、克服できる疾患となるまでには、まだ、時間を要すると思われます。現時点では、医療体制の確保が最大の課題といえると思いますが、スポーツ界に限らず、大会や講演会、講習会、研修会を始めとするイベントも、感染防止対策のうえでの最低限の

「制約」の中で開催・実施されています。

これまでは、「コロナ禍で何ができるか、具体的なことはイメージできない…」としてきたものが、「新たな時代の転換点」を通過しながら、コロナ禍以前の行動が可能になってきたと思われまます。むしろ、衰退や後退した状況や私たちの後ろ向きな思考を、冷静に前向きに転換する「クール&チャレンジ」の1年となれば、と思います。

新しいウインターシーズンを迎えるにあたって、みなさんが、連盟や指導員会、クラブ、仲間や家族といった組織や個人のレベルで、様々な「冬の取り組み」を積極的にイメージし、企画していただければと思います。実施時点で、ウイルス感染状況等外的状況や、ご自身、周辺の感染状況等により条件が整わないようであれば、そのときは中止や延期すればよいのです。

「クール&チャレンジ」加えて「アクション」…、ぜひ、新しい生活様式の中で価値観や仕組みを創出し、行動しましょう。各地のスキー場、宿泊施設、スノースポーツ関連産業を始めとする業界を衰退させることなく、スノースポーツ愛好者を支える…私たち指導者には、共にこの現状を乗り切る役割があります。

各地、各団体においても、様々な「チャレンジ」や「アクションプラン」が出てくるでしょう。これらとも連携していく必要があります。私たちもアンテナを高くし、スノースポーツの進化に向けて、行動していきましょう。そして、観る、体験する、感動するを通じて、多くの世代のスノースポーツ愛好者のすそ野を広げていきたいと思っています。

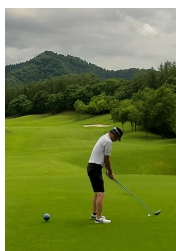
次のシーズン、みなさんと共に元気に雪上に立てることを確信しています。

親睦行事報告（埼玉県）

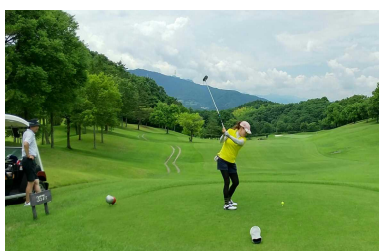
行事名	埼玉県スキー連盟懇親ゴルフコンペ
開催期日	令和4年7月6日（木）
開催会場	下仁田カントリークラブ（群馬県）
参加人数	25名（県連：男性16名、女性5名、協賛団体：4名）
結果（順位）	優勝 市川憲治（鹿沢スノーエリア） 準優勝 谷島 稔（狭山市） 第3位 柳澤光広（さいたま市）
備考	表彰式（パーティ）の中止など新型コロナウイルス感染症の対策を講じながらの実施となった。順位は午前のみで決定、ニアピン賞（2回）・ドラゴン賞（1回）は午前のみ実施。いずれもプレー後に賞品を渡した。



開会式



プレー1



プレー2



優勝者



【千葉県】千葉県スキー指導員会

会 長 小笠原 彦郎

千葉県スキー指導員会 令和5年 行事計画

1	<p>第5回 SIC秋季親睦ゴルフ大会</p> <p>1. 主催 千葉県スキー指導員会                  2. 会場 新千葉カントリー倶楽部 TEL:0476-52-4341                  3. 日時/募集人員 令和4年12月3日(土)/8組(32名)                  4. プレイ費 11,500円(昼食付、税込み)各自フロント払                  5. 参加費 3,000円(パーティ会場集金)</p>
2	<p>第18回 ステップアップ講習会</p> <p>1. 会期 令和5年2月4日(土)～5日(日)                  2. 会場 長野県小海リエックス・スキーバレー                  3. 宿泊 小海リエックスホテル TEL 0267-93-2211                  〒384-1103長野県南佐久郡小海町松原湖高原11                  4. 講師 本間 尚 (元SAJナショナルデモ)                  松田富士夫(元SAJナショナルデモ) 他数名                  5. 対象 SAJ指導員、準指導員、1級、2級、生涯スキーリーダー                  6. 申込先・問合せ先                  千葉県スキー指導員会 井戸端 靖 090-3430-3522</p>
3	<p>第8回 シニアスキーの集い in 千葉</p> <p>1. 会期 令和5年2月14日(火)～15日(水)                  2. 会場 群馬県かたしな高原スキー場                  3. 宿舎 片品高原ホテル                  〒378-0413 群馬県利根郡片品村越本2990 TEL 0276-58-2161</p>
4	<p>千葉県スキー連盟からの委託事業</p> <p>生涯スキーリーダー・認定スキー指導員研修会(実技)の一部                  本研修会は「第8回シニアスキーの集い in 千葉」(指導員会主催)と同時開催</p> <p>1. 主管 千葉県スキー指導員会                  2. 会期 令和5年2月14日(火)～15日(水)                  3. 会場 かたしな高原スキー場                  4. 日程 2月14日(火) 10:30～12:30 開会式/講習                  13:30～15:30 講習                  2月15日(水) 9:00～11:00 講習                  12:00～14:00 講習                  15:00 閉会式                  ※研修会(理論)を受講して下さい。                  ※バッジテストあります。</p> <p>5. 申込先・問合せ先 千葉県スキー指導員会まで</p>

生涯スキーリーダー制度

公認スキー学校などで指導する制度ではありません

- この制度は、公認スキー指導者や加盟団体が認定する指導者制度とは区別されています
- 本制度は、中高年層のスキーライフをコーディネートできるグループライダーの養成が目的であり、指導者の養成とは異なります。
- 生涯スキーリーダーに関する事業は、加盟団体が主管します。

加盟団体が認定する指導者制度

認定スキー指導員

- この制度は、全日本スキー連盟が主催する指導者公認制度とは異なり、公認指導者が不足している加盟団体が、それを補うために主催実施する認定指導者資格です。
- 合格者は、認定書を発行した都道府県スキー連盟で、指導活動を行うことができます。
- 受検者は、本連盟の会員登録を完了した級別テスト2級以上であれば、受検できます。
- 検定会受検要領については、居住地の都道府県スキー連盟にお問い合わせ下さい。  
 ただし、加盟団体の中には、この制度を実施していない連盟もありますので、ご了承下さい。

出展：資格検定受検者のために2021より

## 【東京都】特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会

会 長 和 田 守 義

コロナ対策に関し日本政府は、行動制限を緩和し、経済活動の正常化の方向に舵を切りました。

これは世界的にも多くの国々が既に同様の方向に動いていることでもあります。

感染症に注意しながらも経済を動かしていく、また日常生活を普通に営んでいく、ということは大切な事だと思います。私ども指導者協会も、ここ3年海外行事は除いて国内行事については、ほぼ計画どおり実施してまいりました。この間行事内で感染したケースは、幸い1件もありませんでした。ただ行動制限が大幅に緩和されたからといってもコロナウイルスが消えて無く

なった訳ではありません。むしろ新規感染者数は非常に高水準で高止まりしていて、最近身近な人でコロナに感染したという話を頻繁に聞く様になって、感染拡大を実感するようになりました。いっどこで感染するか分からない、という状況です。

そんな中、スキーを楽しみたい。引きこもってばかり居ず屋外でスポーツをしたい。

スキー行事を止めたくない。そんな思いで今シーズンの事業を計画いたしました。

コロナにうつらない、コロナをうつさない、に注意しながら皆さまと一緒にスノースポーツを楽しみたいと思います。

## 2022 - 2023年 行事計画

No	行 事 名	日 程	会 場	備 考
1	親睦ゴルフ大会	2022.09 予定		親睦のゴルフ大会を計画
2	秋の親睦会（山歩と草採り）	2022.10 予定	木島平	山歩き足腰のトレーニングにプラスしてキノコ採りも楽しむ
3	スキー講座 検定合格のための理論講習会	2022.11.20	なかのZERO 学 習 室	スキー指導者としてのスキー技術の理論体系を理解・整理のための講習会を実施
4	北海道のデモと一緒に初滑り	2022.12.5～8 予 定	北海道 札幌国際	平日の札幌国際スキー場でパウダースノーを堪能。
5	準指検定の特別研究会Ⅰ	2023.1.14～15	菅平高原	準指検定受検にあたり1月の時点では余り種目に囚われず基本的な動作確認から研修
6	プライズテスト合格のための特別研究会	2023.1.14～15	菅平高原	プライズテスト合格のため、スキー技術をより正確で、確実なものに
7	指導員検定の特別研究会	2023.1.28～29	ムイカ	今年度、第3会場はムイカスノーリゾートです。ゲレンデや雪質などの状況把握を
8	プライズ・テスト	2023.2.4～5	菅平高原	日頃、研鑽を積んできた技術のレベルをプライズテストで確認しましょう
9	コブ斜面克服特別研究会	2023.2.4～5	菅平高原	不整地滑降は、指導員検定で重要度が増しています。コツをつかんで苦手意識脱出
10	準指検定の特別研究会Ⅱ	2023.2.18～19	菅平高原	検定会直前の講習会で種目に求められる要素を正確に理解して自身をもって検定に臨む
11	準指導員検定会支援	2023.3.11～12	菅平高原	準指導員検定受検者が、リラックスして普段の力が発揮できるよう応援
12	海外スキーツアー			コロナ感染状況に鑑み今年度も見合わせ
13	春の親睦会（山菜採り）	2023.5 予定	木島平	早春の野山を巡り、旬の山菜料理と地酒それに馬曲温泉の露天風呂を満喫

特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会ホームページ <http://www.ski-instructors-tokyo.jp/>

NPO法人東京都スキー指導者協会



INSTRUCTOR

トップ NPO法人 実施事業 行事実施報告 参加頂いた皆様の声 行事参加お申込みとお問い合わせ ★協会会員の部屋 カレンダー

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

幹事長 川田 光代

指導員会は会員相互の親睦とスキーの普及のため活動しています。2022年度も2年間続いたコロナ禍の影響が残り、事業の開催に苦労しました。

事業の実施にあたっては体温測定やマスク着用等、新型コロナウイルス感染防止の基本的ルールを徹底しました。第101回・第102回親睦ゴルフコンペは春・秋の2回実施して、参加者は延べ87名と盛会となりました。「第20回志賀高原初滑りセミナー」は昨年に引き続きコロナ対策を徹底し開催。「ハンター

マウンテン塩原と塩原温泉の旅」も無事開催。「小海リエックス エンジョイスキー&バジジテストへTry」は、昨年に引き続きバスを出さず現地集合・現地解散の形で実施しました。

残念ながら、第41回オール神奈川スキーヤーズ大会、第39回指導員会フェスティバル・SAKコラボ行事は、新型コロナウイルスの影響により中止としました。

神奈川県スキー指導員会 2022-2023行事予定

No	行 事	期 日
1	第103回記念親睦ゴルフコンペ(秋季大会)	2022年10月27日
2	志賀高原初滑りセミナー	2022年12月 3日 - 4日
3	第42回オール神奈川スキーヤーズ大会	2023年 2月11日 -12日
4	小海リエックスエンジョイスキー&バジジテストへTry	2023年 2月16日 -18日
5	ハンターマウンテン塩原&塩原温泉の旅	2023年 3月11日 -13日
6	第39回指導員会フェスティバル (公財)神奈川県スキー連盟コラボ行事	2023年 3月25日 -26日
7	第104回記念親睦ゴルフコンペ(春季大会)	2023年 5月18日
①	SIJフェスティバル・コラボ行事(福島県箕輪スキー場)	2023年 4月 1日 -2日

ワクチン接種も進み、また感染対策に皆さんが慣れてきたこともあり、実施できた行事も増えました。行事による感染がなかったことも幸運でした。感染防止の工夫により、行事開催は出来るということだと思います。

新型コロナウイルスによる重症化率や死亡率も低下、隔離期間も短縮。罹患者に対するいわゆる「世間の目」も優しくなっている感じがします。

昨年に比べ環境は好転していますが、昨今の感染者数の急激な増加は気になるところです。今後の状況を冷静に見守ってまいりたいと思います。感染防止の工夫をしながらも、スノースポーツをエンジョイできる時期はもうすぐそこまで来ています。今年度、雪上で皆さんと再会できることを心より祈念いたします。

詳細は神奈川県スキー指導員会のホームページ URL <https://sik.arts-k.com>をご覧ください。

志賀高原初滑りセミナー 12月



第102回記念親睦ゴルフコンペ





# 日本スキー指導者協会

## 2022年度事業報告

	開催年月日	事業内容	備考
1	2021年6月～ 随時	2022年度（拡大）事務局会議（中止）	
2	2021年7月10日（土） （書面表決締切日）	2022年度 総会 書面表決 第1号議案 2021年度事業報告 第2号議案 2021年度決算報告・監査報告 第3号議案 2022年度事業計画（案） 第4号議案 2021年度予算（案） 第5号議案 役員改選（案）	各議案とも賛成22名 で承認された 議決権者 理事 15名 代表委員 7名 計22名
3	2021年10月1日	会報第37号の発行	16頁10,500部発行
4	2021年10月23日（土）～24日（日） 参加総数36名	第28回SIJ親睦ゴルフ大会 宮城県2、埼玉県15、東京都11、神奈川県 8	那須カントリークラブ
5	2022年1月7日（金）～10日（月） 参加総数7名	第21回みんなで行こうSAJスキー大学 北海道1、東京都1、神奈川県3、新潟県1、佐賀県1	ルスツリゾートスキー場 ルスツリゾートホテル
	2022年4月2日（土）～3日（日） 中止	2022SIJ懇親スキーフェスティバル（福島） 新型コロナウイルス感染予防のため中止	箕輪スキー場 宿舎：ブルエール箕輪

### 2022年度決算報告 (2021/6/1－2022/5/31)

#### 1. 収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
年会費	542,500	542,500	0	
会議費	0	0	0	2022年度総会は書面表決
事業費	816,000	179,000	▲637,000	
(内訳)	20,000	4,000	-16,000	会報第37号広告料
	296,000	168,000	-128,000	第28回SIJ親睦ゴルフ大会
	20,000	7,000	-13,000	第21回SAJスキー大学企画料
	480,000	0	-480,000	2022SIJ懇親スキーフェスティバル（福島）中止
雑収入	2	2	0	銀行利息
当期収入合計 A	1,358,502	721,502	▲637,000	
前期繰越収支差額	422,755	422,755	0	
収入合計 B	1,781,257	1,144,257	▲637,000	

#### 2. 支出の部

科目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	20,000	0	▲20,000	2022総会は書面表決
事業費	1,136,084	535,470	▲600,614	
(内訳)	495,000	465,730	-29,270	会報37号発行 10,500部
	161,000	69,656	-91,344	第28回親睦ゴルフ大会
	84	84	0	第21回みんなで行こうSAJスキー大学
	480,000	0	-480,000	2022SIJ懇親スキーフェスティバル（福島）中止
管理費	127,520	75,724	▲51,796	
通信費	30,000	14,592	-15,408	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	5,000	11,132	6,132	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	10,000	10,000	0	事務所借用料
渉外費	30,000	0	-30,000	渉外費、慶弔費（弔電、生花）
ホームページ費	40,000	40,000	0	ホームページ維持費
雑支出	12,520	0	-12,520	雑支出
当期支出合計 C	1,283,604	611,194	▲672,410	
収支差額 A－C	74,898	110,308	35,410	
次期繰越金 B－C	497,653	533,063	35,410	
支出合計 D	1,781,257	1,144,257	▲637,000	

## 第21回みんなで行こうSAJスキー大学実施報告書

日会宿費	会場舎用	2022年1月7日(金)～10日(月)4日間 旅行取扱 (株)スペース・プラン 北海道ルスツリゾートスキー場 ルスツリゾート・ノーツ&サウス/トラベルロッジ (〒048-1711 北海道虻田郡寿寿都村字泉川13 TEL 0136-46-3331) 羽田7日朝発4日間 ノーツ&サウス 1室3名89,800円、1室2名99,800円、1室1名114,800円 トラベルロッジ 1室2名81,000円、1室1名96,000円 航空運賃、宿泊代(3泊3朝夕食付)、新千歳空港⇄ホテル間のバス代 7名 北海道1、東京1、神奈川3、新潟1、佐賀1(所属県連で示す、住所は首都圏)
参加者	日程	7:20 羽田空港集合 8:20～09:55 羽田空港発→新千歳空港到着JAL505 1/7(金) 11:00～13:00 新千歳空港ビッグハウス→ルスツリゾート・ノーツ&サウス 各自フリー 1/8(土) 8:30～9:30 スキー大学受付(ルスツリゾート・大食堂2Fホルン) 検温、体調チェックシート提出 曇時々小雪 9:30～10:00 開会式「ホルン前ゲレンデ」責任者SAJ教育本部長 医師 土田 茂 10:00～10:30 デモンストラレーション「エバーコースト」 10:30～15:30 ナショナル/SAJデモによる班別実技講習(一般講習) 1/9(日) 9:30～15:00 ナショナル/SAJデモによる志向別実技講習 曇時々雪 9:30～12:30 スキー大学第1会場技術選手権(大回り、小回り)「エリートコース」 1/10(月) 1種目毎に1回目練習、2回目本番で採点表を受け取り、2種目共ヨット付 快晴 12:30～ 閉会式(修了証授与)責任者 SAJ教育本部長、医師 土田 茂 16:00～17:40 ルスツリゾート・ノーツ&サウス→ビッグハウス(ノスタ)新千歳空港 19:30～21:10 新千歳空港発→羽田空港着 ANA078

## 概況

1. 新型コロナ下、今年もマスク付きで2回目のスキー大学が行われた。全参加者は去年の67名から92名になりこのツアーは13名から7名と、東京3人が北海道連盟のスキー大学参加に行き減った。
2. 今年も1月成人の日の開催だったが、コロナにより空港、スキー場ともすいていた。
3. 1月のルスツには去年と同じく天候に恵まれ、空いたスキー場を存分滑れた。
4. SAJのホームページで「2022年度指導者研修のe-ラーニング教材」を学習し現地講習なしとしている。
5. 開会式、閉会式共に実施され、初日は年令別班でe-ラーニングの課題に合わせた研修、2日目志向別班ではハイスピードショートターン、エンジョイ、オブビステ、受験班に分かれ、3日目はスキー大学第1会場技術選と銘打ち、大回り、小回り2種目を3人のデモが採点した。
6. 今年も新型コロナ感染防止からか、ツアーの参加者は少なかった。



開会式



デモ風景



初日班別講習



2日目インジョイ班

3日目スキー大学第1会場  
技術戦(大回り)

閉会式

## 事務局だより

S. I. J. 事務局は、会の実態に合わせた行事企画と準備、実施に向かって現地との打ち合わせなど、総会で決定した内容の実行を行って参りました。  
この2～3年はコロナ禍の為、思うような活動が出来ませんでした。正副会長、正副理事長とのメールや電話連絡による運営方針の決定で、理事会は中止、総会は書面表決書(ハガキ)による表決になりました。  
事業企画立案なども従来の踏襲となるしかありませんでした。皆様と直にお会いしたいものです。  
広報としては、会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、広告スポンサーの募集、執行内容のホームページへの掲載維持等です。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもし出すために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願い致します。  
本部事務局は当面、横浜の藤木が窓口として業務を行っています。  
事務局員の担当は下記のようになっています。  
事務局長(理事) 総括・経理担当 総務担当 藤木昇(神奈川県)、  
事務局次長 川田光代(神奈川) 事務局次長 広報担当 関根紀光(埼玉)  
事務局員 滝沢誠(東京)、西園勉(神奈川)

## 会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織(SAJの各県連組織を含む)からの会費が基本になっております。皆様から頂く約53万円の年会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んど費やされています。

また滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所に請求書をお届けさせていただきますので、何とぞ年内納入にご協力頂きたく節にお願い申し上げます。

会費振込口座 みずほ銀行八重洲口支店 普通 2544124 日本スキー指導員会事務局

## 個人会員募集

年会費は1,000円となっています。

現在、次の府県の団体は加盟しておりませんので

ご希望の方は、個人会員としてお申し込みください。

◎青森県、◎秋田県、◎栃木県、◎茨城県、◎群馬県、◎新潟県、◎山梨県、◎愛知県、◎福井県

◎西日本ブロック(=SAJのブロックに同じ)

## 日本スキー指導者協会

## 2023年度事業計画

	開催年月日	事業内容	備考
1	2022年6月～ 随時	2023年度（拡大）事務局会議	
2	2022年7月29日（木） 書面表決締切	2023年度 総会 書面表決 第1号議案 2022年度事業報告 第2号議案 2022年度決算報告・監査報告 第3号議案 2023年度事業計画（案） 第4号議案 2023年度予算（案）	各議案とも賛成22名で承認された。 議決権者数 理事 15名 代表委員 7名
3	2022年10月1日（土）	会報38号発行	16頁 発行部数10,150部
4	2022年10月9日（日）～10（月休）	第29回SIJ親睦ゴルフ大会 募集 50名	那須カントリークラブ
5	2023年1月6日（金）～9日（月）	第22回みんなで行こうSAJスキー大学 募集 20名	ルスツリゾートスキー場 ルスツリゾートホテル
6	2023年4月1日（土）～2日（日）	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（福島） 募集 30名	箕輪スキー場 宿舎：ホテルルミエール箕輪

## 2023年度 事業予算案 自2022/6/1～至2023/5/31

## 1. 収入の部

単位：円

科目	予算額	前年予算額	増減	摘要
年会費	528,500	542,500	▲14,000	
会議費	0	0	0	2022年度総会は書面表決
事業費	816,000	816,000	0	
(内訳)	20,000	20,000	0	会報38号作成 広告料
	296,000	296,000	0	第29回親睦ゴルフ大会
	20,000	20,000	0	第22回みんなで行こうSAJスキー大学企画料
	480,000	480,000	0	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（福島）
雑収入	2	2	0	銀行利息
当期収入合計 A	1,344,502	1,358,502	▲14,000	
前期繰越収支差額	533,063	422,755	110,308	
収入合計 B	1,877,565	1,781,257	96,308	

## 2. 支出の部

科目	予算額	前年予算額	増減	摘要
会議費	20,000	20,000	0	拡大事務局会議
事業費	1,106,084	1,136,084	▲30,000	
(内訳)	465,000	495,000	-30,000	会報38号 10,150部
	161,000	161,000	0	第29回親睦ゴルフ大会
	84	84	0	第22回みんなで行こうSAJスキー大学経費
	480,000	480,000	0	2023SIJ懇親スキーフェスティバル（福島）
管理費	127,520	127,520	0	
(内訳)通信費	25,000	30,000	-50,000	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	10,000	5,000	5,000	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	10,000	10,000	0	事務所借用料
渉外費	30,000	30,000	0	渉外費、慶弔費（弔電、生花）
ホームページ費	40,000	40,000	0	ホームページ維持費
雑支出	12,520	12,520	0	雑支出
当期支出合計 C	1,253,604	1,283,604	▲30,000	
収支差額 A-C	90,898	74,898	16,000	
次期繰越金B-C	623,961	497,653	126,308	
支出合計 D	1,877,565	1,781,257	96,308	



(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

## 2023年度 総会議案の書面表決結果

2022年8月18日  
 (公財)全日本スキー連盟  
 日本スキー指導者協会  
 会長 坂本 祐之輔

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会  
 2023年度総会議案の書面表決結果について

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃からS I Jの活動にご理解とご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、7月29日提出期限にて実施した2023年度総会議案の「書面表決」結果を下記のとおりご報告申し上げます

記

- 1 提出期限 令和4年(2022年)7月29日(金)
- 2 回答方法 書面表決書
- 3 結果

規約第25条による議決の結果、各議案とも可決されました。

議案	承認する	承認しない	未提出
第1号議案 2022年度事業報告	22	0	0
第2号議案 2022年度決算報告・監査報告	22	0	0
第3号議案 2023年度事業計画(案)	22	0	0
第4号議案 2023年度予算(案)	22	0	0

出席理事及び代表委員 = 書面表決書提出者 22名

参考 (総会の議決) 第25条 総会の議決は、特別に定めた事項を除き出席理事及び代表委員の過半数をもって決し可否同数の場合は議長が決するところによる。

以上

(公財)全日本スキー連盟

## 日本スキー指導者協会 役員名簿

任期 2021/6~2023/5

2022/8/31現在

特別顧問 丸山 庄司 長野 県  
 顧問 坂井 和夫 北海道  
 “ 半沢 進 宮城 県  
 “ 福岡 孝純 東京都  
 “ 杉崎壽三男 東京都  
 “ 大澤 佑吉 神奈川 県  
 “ 榎本 勝雄 神奈川 県  
 “ 水島 秀夫 神奈川 県  
 参 与 長澤 光雄 千葉 県

顧問弁護士 菅原 哲朗 キー・ソノ法律事務所

【訃報】

顧問 岸 英三 2022年4月9日 逝去  
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

事務局

局長 藤木 昇 神奈川 県  
 規約17条3項による理事  
 次 長 関根 紀光 埼玉 県  
 次 長 川田 光代 神奈川 県  
 局 員 滝沢 誠 東京 都  
 局 員 西園 勉 神奈川 県

会 長 坂本祐之輔  
 副 会 長 藤島 勝雄 北海道  
 “ 吉田 勇夫 岩手 県  
 “ 高橋 哲男 埼玉 県  
 特別理事 欠員 S.A.J.理事  
 理 事 水島三千夫 神奈川 県 理事長  
 “ 新井 臣一 埼玉 県 副理事長  
 “ 三浦 光男 北海道  
 “ 柴崎 義信 宮城 県  
 “ 鈴木 勘重 山形 県  
 “ 矢木 郁雄 福島 県  
 “ 船戸 均 埼玉 県  
 “ 小笠原彦郎 千葉 県  
 “ 和田 守義 東京 都  
 “ 大山 重彦 神奈川 県  
 監 事 巻坂 伸治 千葉 県  
 監 事 下河邊元春 東京 都  
 代表委員 小川 徳裕 福島 県  
 “ 臼倉 弘高 埼玉 県  
 “ 庄司 高士 千葉 県  
 “ 芳賀 寛 東京 都  
 “ 西塚 彰 東京 都  
 “ 酒井祐一郎 神奈川 県  
 “ 辻 宏泰 福井 県 注) 2023年度より退会

【事務局】 〒236-0052 神奈川県横浜市金沢区富岡西 4-43-23 TEL &amp; FAX 045-774-8155 携帯070-5597-3118

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会事務局 藤木 昇

## 2022年度 関係団体一覧

北海道	0133-74-9270	三浦光雄様方	大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟内
青森県	0172-48-3490	一般財団法人青森県スキー連盟内	兵庫県	0796-20-3735	兵庫県スキー連盟内
岩手県	019-656-6655	一般財団法人岩手県スキー連盟内	奈良県	0743-67-0760	奈良県スキー連盟内
秋田県	018-893-6832	秋田県スキー連盟内	和歌山県	0736-63-0635	和歌山県スキー連盟内
宮城県	022-799-7200	宮城県スキー連盟内	岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟内
山形県	023-647-5020	山形県スキー連盟内	広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟内
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟内	鳥取県	0859-52-2290	鳥取県スキー連盟内
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟内	島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟内
栃木県	028-665-9111	栃木県スキー連盟内	山口県	083-927-9655	山口県スキー連盟内
埼玉県	048-853-2710	埼玉県スキー連盟内	高知県	088-841-5361	高知県スキー連盟内
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟内	愛媛県	090-1326-5830	愛媛県スキー連盟内
東京都	03-3262-2491	一般財団法人東京都スキー連盟内	香川県	0875-54-2479F	香川県スキー連盟内
神奈川県	045-311-8907	公益財団法人神奈川県スキー連盟内	徳島県	090-8985-7664	徳島県スキー連盟内
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟内	福岡県	092-262-1550	福岡県スキー連盟内
新潟県	0258-82-1680	公益財団法人新潟県スキー連盟内	熊本県	090-3196-5473	熊本県スキー連盟内
長野県	026-264-5888	公益財団法人長野県スキー連盟内	大分県	0973-79-3056	大分県スキー連盟内
山梨県	090-7401-3322	NPO法人山梨県スキー連盟内	佐賀県	090-1875-2521	佐賀県スキー連盟内
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟内	宮崎県	080-3961-1326	宮崎県スキー連盟内
石川県	076-273-3543	石川県スキー連盟内	鹿児島県	090-4344-6541	鹿児島県スキー連盟内
福井県	080-6761-4710	福井県スキー連盟内	沖縄県	info@skioki.com	沖縄県スキー連盟内
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟内	長崎県	0956-59-2127	長崎県スキー連盟内
愛知県	052-757-6277	公益社団法人愛知県スキー連盟内	公益社団法人全日本学生スキー連盟	03-3384-7913	
静岡県	054-385-5437	静岡県スキー連盟内	公益財団法人全国高等学校体育連盟スキー専門部	0255-72-7931	
三重県	059-328-5673	三重県スキー連盟内	公益財団法人全日本スキー連盟 教育本部		
滋賀県	077-578-0945	滋賀県スキー連盟内	東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号	03-5843-1525	
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟内			



# GOTO

# スキー



# BOYA

〒245-0013 横浜市泉区中田東1-34-18-201  
 Email: boya-iezumi@cure.ocn.ne.jp  
 担当: 家住(イエズミ)090-8450-4282

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/boya-mart/>

\*\*\*\*\*



《編集後記》 自粛からウイズコロナへ知恵と工夫で銀世界を取り戻そう、滑るスキーの風切る速さ…シーズンが待ちどおしい。皆様にお会いできる日を楽しみにしています。M記

\*\*編集委員\*\* 藤木 昇、関根紀光、川田光代、滝沢 誠、西園 勉、水島三千夫

## INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報 (第38号) (非売品)

2022年10月1日発行

編集人 編集委員会 発行人 坂本 祐之輔

印刷所 水戸屋紙工株式会社

発行所 日本スキー指導者協会事務局

〒236-0052 神奈川県横浜市金沢区富岡西 4-43-23

TEL & FAX 045-774-8155 E-mail nobfjk@b03.itscom.net URL <https://sij.arts-k.com/>